

平成29年度 支え合うきよせ委員会 第1回
(清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体) 会議録 (案)

- 1 開催日時 平成29年5月16日(火) 午後1時30分から午後3時30分
- 2 開催場所 清瀬市健康センター 2階 第二会議室
- 3 出席者 支え合うきよせ委員会委員のとおり

4 次第

- (1) 開会・挨拶
- (2) 委嘱状交付
- (3) 委員紹介

各委員、関係者、事務局から自己紹介があった。

※委員の交代については下記のとおり

| 所属機関、選出区分等 | 新任 | 前任 |
|-----------------|------|------|
| きよせ信愛地域包括支援センター | 金川委員 | 菅原委員 |
| 健康づくり推進員 | 田島委員 | 高田委員 |

(4) 配布資料の確認

- ・ 資料1 支え合うきよせ委員会 委員名簿
(清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議)
- ・ 資料2 清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体設置要綱
- ・ 資料3 先進地域視察報告
- ・ 資料4 これまでの取り組み
- ・ 資料5 支え合うきよせ委員会の部会構成
- ・ 資料6 支え合うきよせ委員会関連スケジュール
- ・ 資料7 平成29年度清瀬市生活支援コーディネーター(第二層)について
- ・ 資料8 本日の部会の進め方について

(5) 清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体設置要綱について

事務局より、協議体の設置要綱について資料2を用いて説明。

事務局より、清瀬市まちづくり基本条例にもとづいて傍聴に関する取扱いは原則公開とし、市のホームページ等で開催日程のお知らせをすること、議事録については個人名を出さない形(委員長、副委員長、委員、事務局など)で作成することとし、要約筆記とすることについて委員より承認を得た。

(6) 委員長及び副委員長の選出及び選任の挨拶

羽田委員より推薦があり、会長に阿久津委員、副会長に星野委員が推薦され、承認された。

(7) 報告

ア 先進地域視察報告

生活支援コーディネーターより、特例認定 NPO 法人ユーアイネット柏原への視察を報告。

- ・ シニアの方々が持っている知識や経験を地域の中で人のために活用する仕組みが参考になった。
- ・ 委員以外の方にも視察についてお声かけし、地域福祉活動に関心のある方々と視察を通じて意見交換をすることができた。
- ・ 今後も視察の機会を設定することで、協議体の取り組みを周知し、支え合いの活動に取り組む輪が広がるのではないかと考えられる。

イ これまでの検討経過

事務局より、これまでの検討経過や前回までの議論の経過について、資料 4、5 を用いて報告。

(8) 議題

ア 支え合うきよせ委員会 関連スケジュール

事務局より、資料 6 の支え合うきよせ委員会関連スケジュールについて説明。スケジュールの詳細について、部会で検討いただきたいと提案があった。

イ 生活支援コーディネーター（二層）について

事務局より、平成 29 年 10 月に第二層の生活支援コーディネーターが市内三カ所の地域包括支援センターに 1 名ずつ配置される予定であり、第二層の生活支援コーディネーターが担う役割について、資料 7 を参考に部会で議論していただきたいと提案があった。また、第二層の生活支援コーディネーターは社会福祉士の資格を持ち、地域包括支援センターの業務とは完全に切り離すことを想定していると説明。

ウ 本日の部会の進め方について

生活支援コーディネーターより、本日の部会の進め方について資料 8 を用いて説明。

(9) 部会

委員長より、地域資源・ニーズ把握部会を A 部会、支え合いバックアップ部会を B 部会と呼ぶことについて提案があり、承認。資料 8 に記載されたそれぞれの検討事項について、A 部会、B 部会に分かれて検討。

(10) 部会検討内容報告

各部会より、以下の報告があった。

ア 地域資源・ニーズ把握部会（A 部会）

- ・ 部長に内田委員、副部長に田中委員を選任。
- ・ 地域で活動している団体への活動状況把握について、活動の現状をうかがう中で課題や問題点と感ずることをうかがう。参加者の声を聞いてみてはどうかという意見もあったが、今回は団体側の話を中心にうかがう。
- ・ 市内には自治会が 170、サロンが 50、老人クラブが 24、その他、社会福祉法人や NPO 法人などが多数ある。今回の活動状況把握や意識啓発では、自治会やサ

ロン、老人クラブを対象とする。

- ・ 10月以降、各地域包括支援センターに配置される第二層の生活支援コーディネーターについても訪問に参加してもらう。
- ・ 訪問する団体が多いため、当面はモデル地区を一つ選定し、10人くらいにお集まりいただく集合方式により活動状況把握と、意識啓発を行う。今後、段階的に各地域包括支援センターに1つモデル地区ができるように進める。

イ 支え合いバックアップ部会（B部会）

- ・ 部会長に柳原委員、副部会長に内野委員を選任。
- ・ 昨年実施したフォーラムに参加された方を大切にしながら、関心のある人達に声をかけ、7月と8月に1回ずつ勉強会を実施。内容として、支え合うきよせ委員会の活動を報告しながら、話し合う場とする。
- ・ 地域の中で支え合いの機運が高まった際には、このような勉強会に参加した人たちが中核を担う存在になってくることを想定。委員も毎回2、3人参加し、場合によっては、継続的に実施することも検討する。
- ・ 生活支援コーディネーターの役割について、市民にまだまだ知られていないため、役割などについて部会で整理し、市報などを用いて広報する。
- ・ 検討事項にあった活動場所・資金に関する情報収集とメニュー化について、勉強会を通して、参加者からの意見を勘案しながら検討する。

（1 1）次回開催日

平成29年8月24日（木）13:30～ コミュニティプラザひまわり会議室1

（1 2）閉会挨拶 小山高齢福祉担当部長より